

# 令和6年度 事業計画

## 1 研修等業務

### (1) 技術研修業務

#### ア 専門技術研修

県及び市町土木技術職員等に対する専門技術研修を行う。

\*斜体は隔年研修

研修区分	研修課程名	研修対象者	1回の 日数	1回の 人数
職務基礎研修	新任者（前期）	・県、市町の新規採用土木職員等	4	40
	新任者（後期）		3	40
	災害復旧基礎		3	40
	CAD		2	30
	積算システム	・県の新規採用土木職員等	1	30
小 計 (5回)			—	180
実務能力研修	設計積算	・県、市町の土木職で経験が5年程度の職員等	2	30
	道路実務		2	30
	下水道実務		2	30
	港湾実務		2	30
	施工管理（基礎）		2	30
	施工管理（コンクリート品質確保）		3	20
	施工管理（ICT施工管理）		1	30
	予算・法令実務		2	30
	測量・土質地質調査		1	30
	検査実務		1	30
	災害復旧工法(R5→R6)		2	30
	建築工事監理	1	30	
転勤対象者技術	・県の土木職員等	1	30	
小 計 (13)			—	380
専門能力研修	道路施設設計	・県、市町の土木職で経験が10年程度の職員等	2	30
	斜面对策		2	30
	仮設工設計		2	30
	地盤対策		2	30
	現場研修	・県、市町の土木職員等	1	30
小 計 (5回)			—	150
管理能力研修	積算技術	・県、市町の土木職で経験が20年程度の職員等	1	30
	土木事業マネジメント		1	30
小 計 (2回)			—	60
合 計 (25回)			—	770

#### イ センター独自研修

市町職員を対象とした「積算システム」について前年度に引続き実施する。

## (2) 調査研究業務

山口県土木行政課題の解決を支援するため、山口大学、水産大学校、徳山工業高等専門学校と共同研究を行う。

## (3) 情報提供業務

土木技術に関する情報を情報誌等により県・市町の土木技術職員に提供する。

また、センター業務のPRや土木技術の情報提供をホームページにより行うとともに、様々な技術相談に対し、適切に対応を行う。

## (4) 土木積算システム運用支援業務

市町、県の設計図書作成業務の迅速化、効率化を図るため、市町、県に対して土木積算システムの運用支援を行う。

支援先：市町、県機関

支援先	機関数	台数(台)	摘要
市町	18	359	12市6町
その他	3	47	県3機関
合計	21	406	

## (5) 技術アドバイザー派遣業務

土木技術が高度化する中、発注者としての責務を果たすため、技術的経験の伝承が困難な8工種（橋梁、トンネル、地盤基礎、下水処理、建設環境、法面・斜面、ダム、コンクリート）について、技術アドバイザーを選定・派遣依頼し、担当者に助言を求めるもの。

なお、技術アドバイザーにおいて、学識経験者は、登録された33名から選定し、県土木技術職員等は、案件の内容により適任者を個別に選定する。

## 2 積算等受託業務

県及び市町が行う建設事業の円滑な執行を支援するため、次の業務を行う。

### 【調査設計管理業務・設計図書作成業務・工事管理業務】

区分	県事業		市町事業		合計		
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	
調査設計管理業務※	19	34,700	1	1,100	20	35,800	
内 訳	調査設計管理	4	7,000	1	1,100	5	8,100
	技術マニュアル作成	7	22,500	0	0	7	22,500
	設計成果チェック	8	5,200	0	0	8	5,200
設計図書作成業務	36	52,500	18	12,700	54	65,200	
工事管理業務	3	29,000	0	0	3	29,000	
合計	58	116,200	19	13,800	77	130,000	

※ 当該業務の中で、令和6年度より新たに「AIによる橋梁インフラ点検・診断システム運用支援業務（仮称）」に取り組む。

### 【土地区画整理業務】

区分	—	市町事業		備考
		件数	金額(千円)	
土地区画整理業務	—	1	24,200	登記等作成業務

合計 154,200 千円

### 3 公益目的業務

#### (1) 社会基盤メンテナンス技術者育成に関する講座

県・市町技術職員及び民間技術者を対象に、「初心者技術レベルの底上げ」及び「中核となる人材の育成」を目的として、橋梁等の点検や維持管理、補修・補強をテーマに社会インフラの老朽化対策等に関する講座を実施する。

なお「中核となる人材の育成」に係る講座については、山口大学と共同で開催する。

#### (2) 建設業に関する講座

「将来の担い手となる高校生」に対して建設業の魅力をPRするために、出前講座を開催する。

#### (3) 大学等との共同（技術）研究

社会インフラの品質向上に向けた調査研究について、当該研究テーマ等を検討する。

#### (4) 派遣研修支援

県及び市町が土木技術職員等を国土交通大学校等に派遣する場合、テキスト代の経費について支援を引き続き行う。

#### (5) 情報提供

当センターの編集制作する情報誌を、県及び市町土木技術職員等全員に配付する。

ホームページ等を活用して、公益目的業務に関する情報の提供を行う。